

3 土砂災害に備えて

日頃の備えと早めの避難



土砂災害の危険がせまったとき、私たちはどのような行動をとったらよいでしょうか？
どのようなことに注意したらよいのかを考えながら見てみましょう。



早めの避難～土砂災害の危険がせまってきたときの私たちの行動～

まちの人たちの行動

危険を知らせる努力

県や市役所・町村役場の人たちが車や徒歩で情報を集めます。また、雨が降った量なども調べます。



情報収集

私たちの行動

危険を知り、被害者にならない努力

テレビ、ラジオ、インターネットなどで情報収集！

- ・今から雨がどのくらい降るのか？
- ・台風がいつころに近づくか？
- ・近くで土砂災害が起きているところはないか？



危険性の判断、関係機関への連絡・避難場所開設

災害の情報を集めて、必要なところに連絡をします。また、避難場所を開設します。



市役所・町村役場から
出される避難情報には
よく注意するんじや！



早めの避難の準備

- ①避難場所までの安全な避難経路を確認する
- ②くつや懐中電灯など、避難に必要なものの準備
- ③ガスの元栓をしめる
- ④防災グッズ(P.22参照)の確認

早めの避難

土砂災害の発生する危険が高いです。気をつけてください。

土砂災害警戒情報の発表

この場所は危険なので避難してください!!

避難指示の発令



安全に避難できるように、地域の人や警察、自衛隊など、いろいろな人たちが活動しているんです。

避難指示がでたら、危険がせまっている合図じゃ。安全を確保するために、早めの避難を実行しよう!



もっと教えて!砂防博士!!



Q1.なぜ「早めの避難」が大切なの?



避難しようとしたとき、雨や風が強くて歩くことが大変になったり、強い風で物が飛んできてケガをする可能性があるんじやよ。安全に避難するためには、早めの行動が一番じゃ!!



Q2.避難しても災害が起きなかったら意味ないんじゃない?



避難しても、災害が起きなかったら損した気分になっちゃうかも...家でゲームだってしたいし...

早めに避難することは、いつ起こるかかわらない災害から大切な命を守る一番の方法じゃ。災害が起きなかったら、命も家も無事だったということ!損じゃない!何事も無いのが一番じゃ!

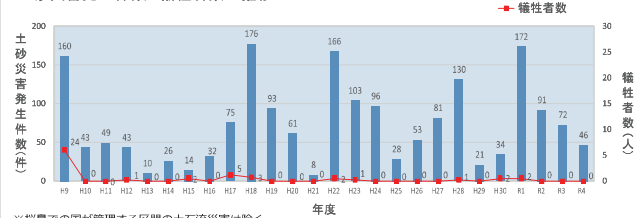


Q3.「早めの避難」で本当に僕たちの命が守れるの?



鹿児島県では多くの土砂災害が起きているんじやが、犠牲者がいない年もあるんじや!これは、地域の人が協力して、早めに避難するなどの身を守る行動をしたおかげでもあるんじやよ!

土砂災害発生件数と犠牲者数の推移



※桜島での国が管理する区間の土石流災害は除く

まとめ

土砂災害から私たちの大切な命を守るためには、

- みんなで協力し、災害にあわないための努力「日頃の備え」を忘れないこと!
 - 災害の危険がせまったときは、みんなで助け合って「早めの避難」をすること!
- この2つが大切なんじや。

実際に、「日頃の備え」と「早めの避難」をしっかりと実行して、土砂災害の犠牲者ゼロに取り組んでいるまちがあるんじやよ!最後に、どのようなことに取り組んでいるのか、そのまちの人たちに話を聞いてみよう!

